

ステークホルダーとの コミュニケーション

基本的な考え方

SMBCグループでは、「お客さま」「株主・市場」「従業員」「社会・環境」といった、さまざまなステークホルダーの皆さまとの関係構築を図り、より良い価値を提供することを通じて、社会全体の持続的な発展に貢献することを目指しています。

SMBCグループの ステークホルダー



ステークホルダー	コミュニケーションの例
お客さま	店頭アンケート、お客さま満足度調査、コールセンター
株主・市場	株主総会、投資家説明会、個別面談
従業員	経営層との意見交換会、従業員意識調査
社会・環境	国内外のイニシアチブへの賛同、NGO・NPOとの対話、ボランティア活動



株主・市場との対話

SMBCグループでは、「事業の発展を通じて、株主価値の持続的な増大を図る」ことを経営理念のひとつとして掲げ、企業・経営情報の適切なディスクロージャーを株主価値経営の前提として位置付けています。そのため、決算後の投資家説明会や各種カンファレンス・個別面談、個人投資家向け説明会等を通じて、経営戦略や財務状況等を的確にご理解いただけるよう努めています。こうした取組により、2021年度も、3年連続で日本証券アナリスト協会主催の「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業（銀行部門第1位）」を受賞しました。

なお、コロナ禍を経て、投資家の希望に合わせて各種説明会や個別面談を対面・非対面両方の形式で実施する等、安全面に配慮しながらもディスクロージャーの質を落とさない取組を行っています。



投資家説明会



個人投資家向け説明会



第20期定時株主総会



ESG説明会

2021年度の実績

株主総会	参加者数: 789名*
機関投資家・アナリスト向け説明会	14回開催
機関投資家・アナリストとの個別面談	315回実施
証券会社主催カンファレンス	5回参加
個人投資家向け説明会	2回開催

* インターネット同時中継の視聴者563名を含む

従業員との対話

経営陣と従業員との相互理解を深めるためのさまざまな取組を行っています。

たとえば、昼食の時間を利用してグループ各社の従業員とグループCEOが交流する「カタリバ」を2021年度は8回開催しました。従業員が自らの夢や目標を語る中で、さまざまなアイデアや新しい発想が生まれ、活発な意見交換が行われました。

また、タウンホールミーティングや社内コンテストの表彰式等の場を活用し、経営陣が現場の従業員と直接コミュニケーションを行いました。

さらに、社内SNS「みどりの広場（通称ミドリば）」では経営陣も積極的に従業員の投稿にコメントする等、交流がさかんに行われています。



表彰式の様子（三井住友銀行）



「Speed & Quality ~Culture Change~」の様子（三井住友カード）

社会・環境との対話

「社会課題の解決を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する」ため、国内外のさまざまなイニシアチブに参画・関与しています。たとえば気候変動問題の解決に向けては、グローバルなルールメイクを担うイニシアチブの作業部会に参加し、意見発信等を行っています。

また、サステナビリティの実現に向けた方針や取組を積極的に開示することで、社会と対話することを重視しています。